

Messor barbarus

(Linnaeus, 1767)

シュウカクアリ

穏やかで少し不器用な種子収穫アリ。頭の大きな大型働きアリがいて、初心者に私が一番おすすめする種です。



ひと目でわかる情報



巣の温度

21–26 °C

巣の中



巣の湿度

50–60 %

穀物庫：10–40 %



休眠

12–16 °C

10月–3月



結婚飛行

9月–11月

雨のあと



働きアリ

3–8 mm

大型働きアリは最大14 mm



女王

14–17 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ1,000匹規模

成長速度：とても速い



脱走リスク

低い

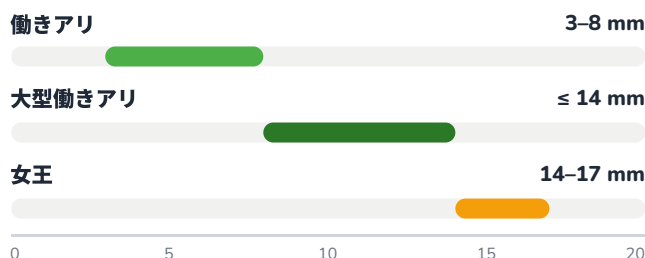
おとなしく、めったに脱走しません

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

種子

おすすめの巣

1. Ytongの巣
2. アクリル製の巣
3. 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ おとなしく、めったに脱走しない働きアリ
- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 種子を貯めるので、餌やりを忘れても問題ありません
- ⚠ 乾いた穀物庫と湿ったブルード室のように、湿度の勾配が必要です
- ⚠ 成長がとても速く、たんぱく質と広いスペースがたくさん必要です

私のコロニーから

ヒント

巣には湿度の勾配をつけましょう。乾いた穀物庫は種子の発芽やカビを防ぎ、ブルードには湿った部屋が必要です。

注意

働きアリはYtongをかじってしまうので、Ytong製の巣はプラスチックかガラスの密閉ケースに入れておきましょう。